
2019年7月期 決算説明会

包装システムのトータルプランナー

ゼネラルパッカー株式会社



証券コード: 6267

目次

- I. セグメントと事業環境
- II. 2019年7月期決算概況
- III. 中期経営計画ならびに
2020年7月期業績見通し
- IV. 経営戦略の主な取組み状況
- V. 参考資料

セグメント別事業概要

包装機械

主要品目

包装機から包装システムまで

・袋詰用包装機

給袋自動包装機
(ガス充填自動包装機含む)



製袋自動包装機



・包装関連機器等

ゼネラルパッカー

(7月決算)

蘇州日技通用包装機械(中国)

ロボット応用システムの仕入

その他関係会社; FAMS(安川電機子会社)

2016/3月設立



<事業内容>

野菜自動生産システム、食品自動化装置

生産機械

主要品目

機器からプラントまで

・製菓機械

チョコレート製造機械



オサ機械

2016/9月子会社化

(7月決算)

※12月決算

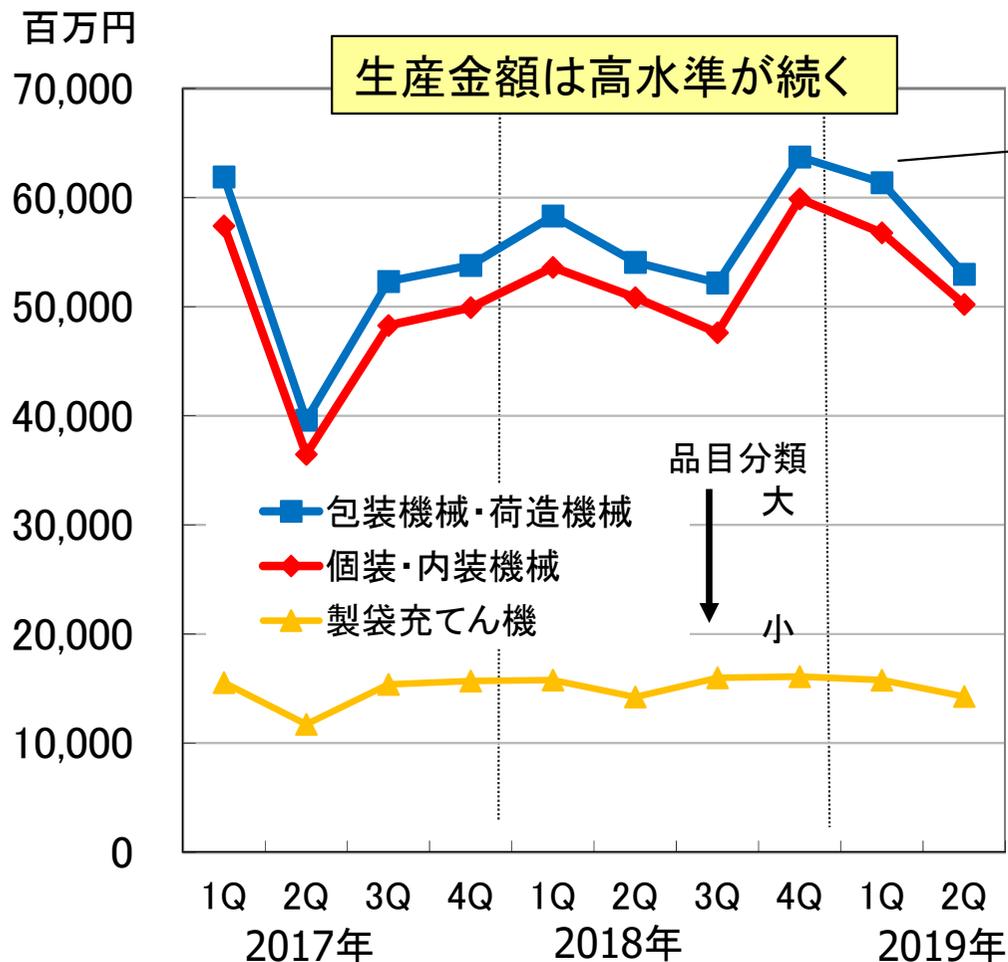
連結決算対象 : 7月-6月

連結上必要な調整を行っています。

事業環境 - 包装機械

経産省 生産動態統計より、当社作成
「包装機械及び荷造機械の生産金額推移」
(2017年1Q～2019年2Q)

※1Q;1～3月、4Q;10～12月



<包装機械業界>

- 国内の包装機械需要は好調に推移
- 輸出は、アジア・ヨーロッパ向けが好調に推移

2019年上半期計	生産金額
全体	前年同期比1.7%増
個装・内装機械	前年同期比2.4%増
製袋充てん機	前年同期比0.1%増

当社の主要対象市場

<当社の動向>

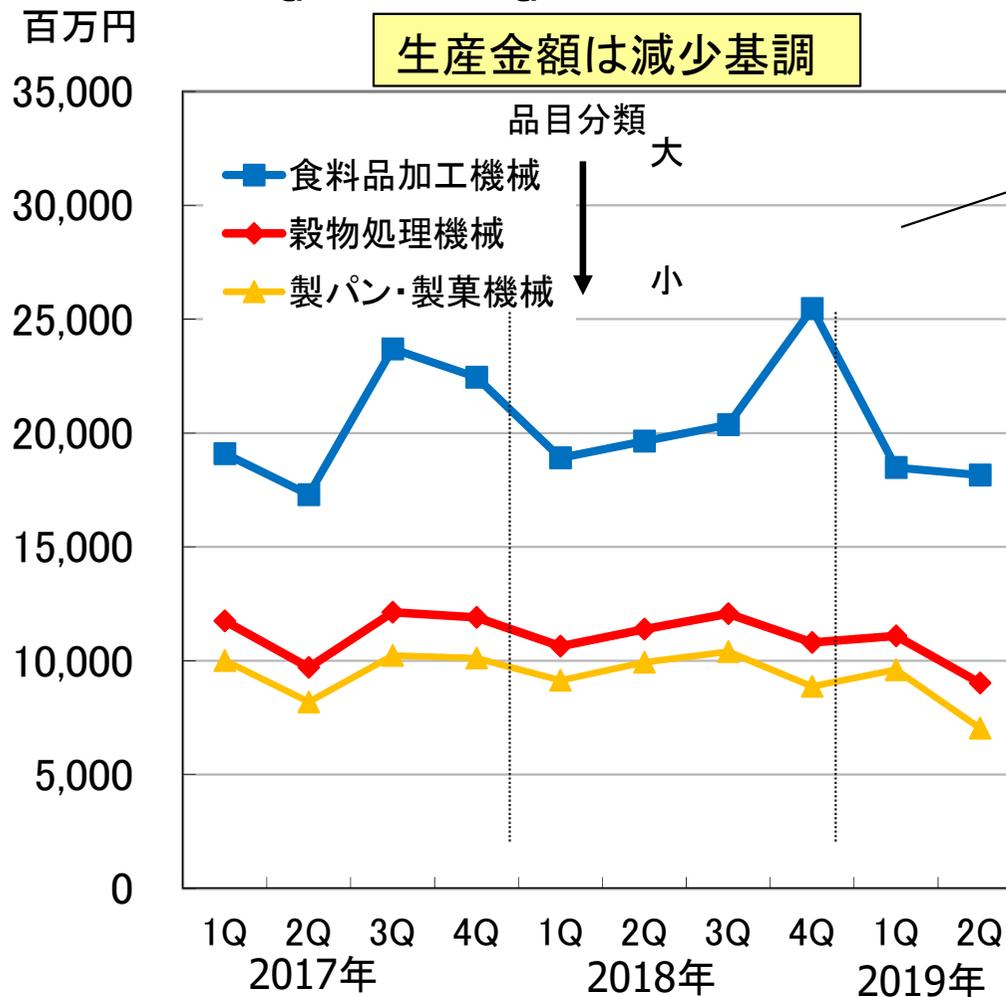
- 国内市場では、食品業界・化学関連業界向けが好調に推移し、機械受注高は、前期を大幅に上回る。
- 海外市場では、包装関連機器等の増加により、機械受注高は、前期を上回る。

20/7期見通し
国内市場は堅調に推移
海外市場は需要拡大を見込む

事業環境 - 食品機械

経産省 生産動態統計より、当社作成
「食料品加工機械の生産金額推移」
(2017年1Q~2019年2Q)

※1Q;1~3月、4Q;10~12月



＜食品機械業界＞

- 国内の食品機械需要は横ばい傾向
- 輸出は、アジア向けが増加基調で推移

2019年上半期計	生産金額
全体	前年同期比 5.0%減
穀物処理機械	前年同期比 8.7%減
製パン・製菓機械	前年同期比12.7%減

当社子会社の主要対象市場

＜当社子会社の動向＞

チョコレート製造機械の専門メーカー

- 前年と比べて、設備投資需要が小型化
- 大型プラントの実績減少により、機械受注高は、前期を下回る。

20/7期見通し

大型プラント需要は少数

高額機械の更新需要増加を見込む

II. 2019年7月期 決算概況

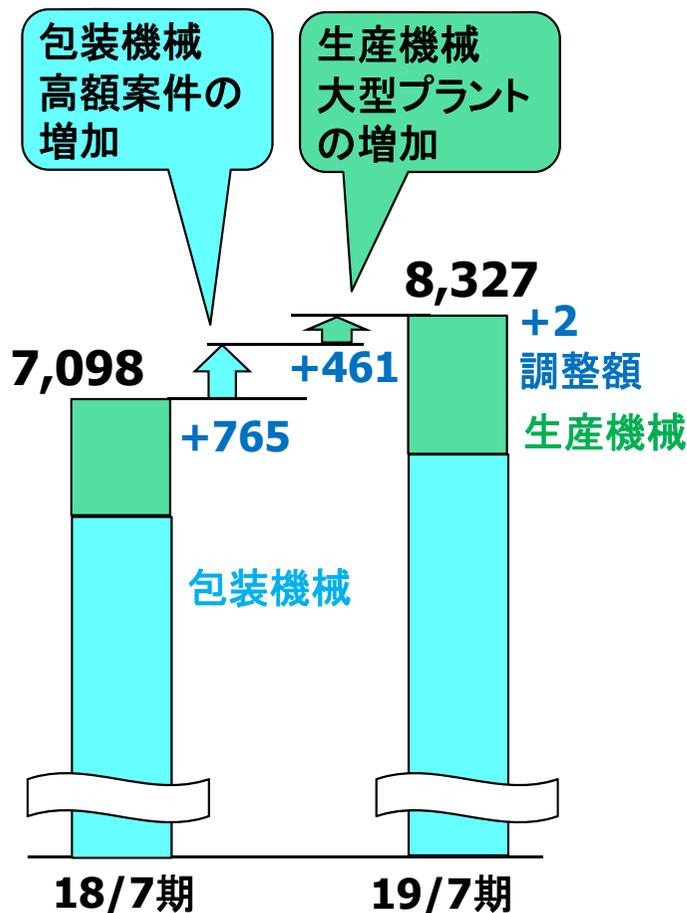
2019年7月期 決算のポイント

売上高・営業利益; 過去最高

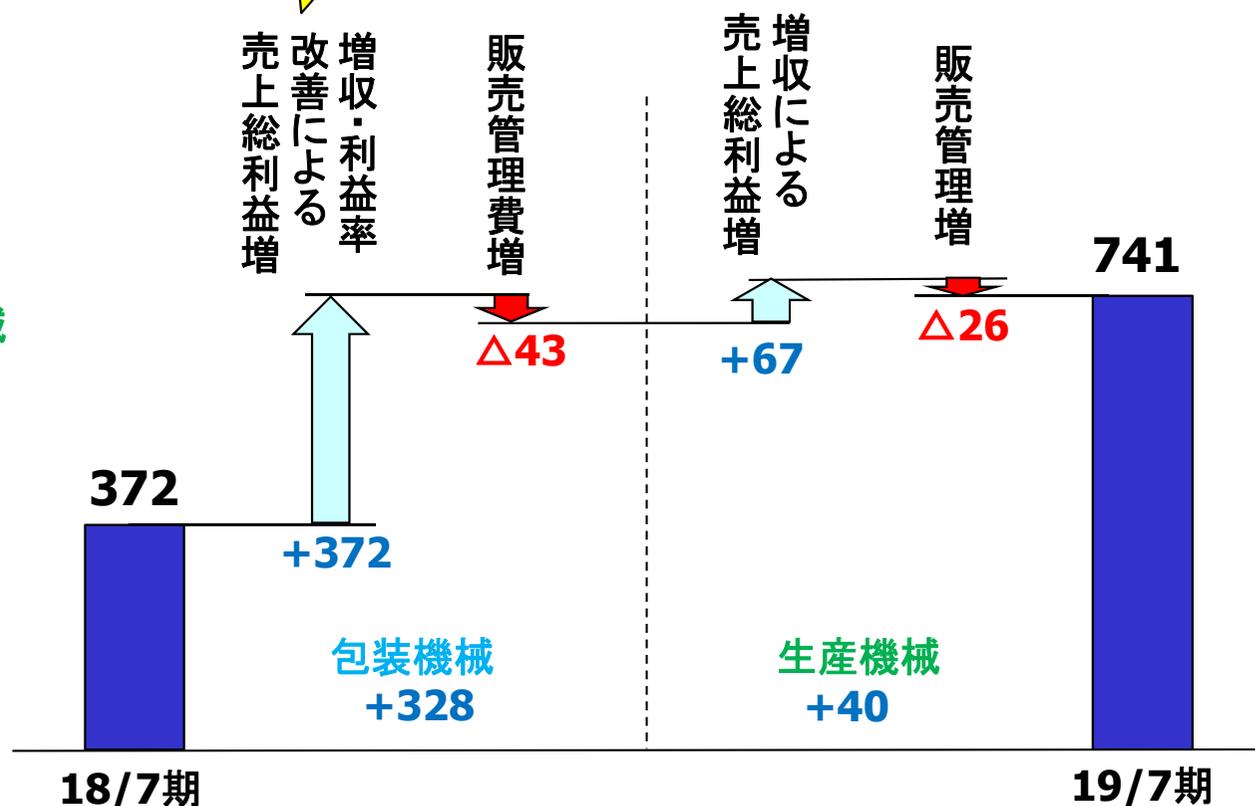
売上高
1,229百万円の増収

営業利益増減要因(前期比) 369百万円の増益

(単位:百万円)



主力機種の
利益率向上等



業績予想比; 27百万円増収、145百万円増益

※2019年3月4日公表の上方修正後の業績予想比です。

2019年7月期 連結決算概要

(単位:百万円、%)

	2018年7月期		2019年7月期		前期比		2019年7月期計画 ※		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率	金額	計画比	率
売上高	7,098	100.0	8,327	100.0	+1,229	+17.3	8,300	+27	+0.3
売上総利益	1,807	25.5	2,246	27.0	+439	+24.3	2,073	+173	+8.4
営業利益	372	5.2	741	8.9	+369	+99.2	596	+145	+24.3
経常利益	376	5.3	745	8.9	+368	+97.9	600	+145	+24.2
当期純利益	260	3.7	524	6.3	+263	+101.3	420	+104	+24.8

※ 2019年7月期計画は、2019年3月4日公表の業績予想修正時の数値です。

前期比:増収・増益 【過去最高益】

- 売上総利益は、増収により、前期比439百万円増加。
売上総利益率は、包装機械の利益率改善により、前期から向上。
- 営業利益率は、前期比3.7ポイント上昇し8.9%。
- 経常利益は、計画を上回り、前期比368百万円増益。
- 当期純利益は、計画を上回り、前期比263百万円増益。

- 自己資本当期純利益率(ROE) 13.9% -- 前期 7.5%

セグメント別業績概要

(単位:百万円、%)

	2018年7月期		2019年7月期		前期比		2019年7月期計画 ※2		
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率	金額	計画比	率
売上高	7,098		8,327		+1,229	+17.3	8,300	+27	+0.3
包装機械	6,163		6,929		+765	+12.4	7,100	△170	△2.4
生産機械	936		1,398		+461	+49.3	1,200	+198	+16.6
※1 調整額	△2		△0		+2	-	-	-	-
営業利益	372	5.3	741	8.9	+369	+99.2	596	+145	+24.3
包装機械	354	5.8	683	9.9	+328	+92.6	570	+113	+19.9
生産機械	16	1.8	57	4.1	+40	+244.4	25	+31	+123.1
※1 調整額	0	-	0	-	-	-	0	-	-

※1 調整額;セグメント間取引の調整

※2 2019年7月期計画は、2019年3月4日公表の業績予想修正時の数値です。

【包装機械】 増収・増益、利益率が向上。計画に対して増益

【生産機械】 増収・増益、無形固定資産(のれん・技術資産等)の償却にて、利益率4.1%。

計画に対して増収・増益

【営業利益 調整額】 セグメント間取引の消去 2018年7月期;613千円

2019年7月期;600千円

セグメント別売上内訳

(単位:百万円、%)

	2018年7月期	2019年7月期	前期比増減		2019年7月期 計画 ※2
			金額	率	
包装機械	6,163	6,929	+765	+12.4	7,100
給袋自動包装機	3,794	4,382	+587	+15.5	4,616
製袋自動包装機	109	598	+489	+448.9	594
包装関連機器等	1,017	599	△418	△41.1	590
保守消耗部品その他	1,242	1,348	+106	+8.6	1,300
生産機械	936	1,398	+461	+49.3	1,200
製菓機械	763	1,211	+447	+58.6	1,060
保守消耗部品その他	173	187	+14	+8.3	140
合計	※1 7,098	※1 8,327	1,229	+17.3	8,300

※1 合計は、セグメント間の内部売上高の調整後。

※2 2019年7月期計画は、2019年3月4日公表の業績予想修正時の数値です。

【包装機械】

◇高価格機種の実績が増加、大型案件の翌期への繰越により計画比減収

【生産機械】

◇大型プラントの実績が増加、高額案件の増加により計画比増収

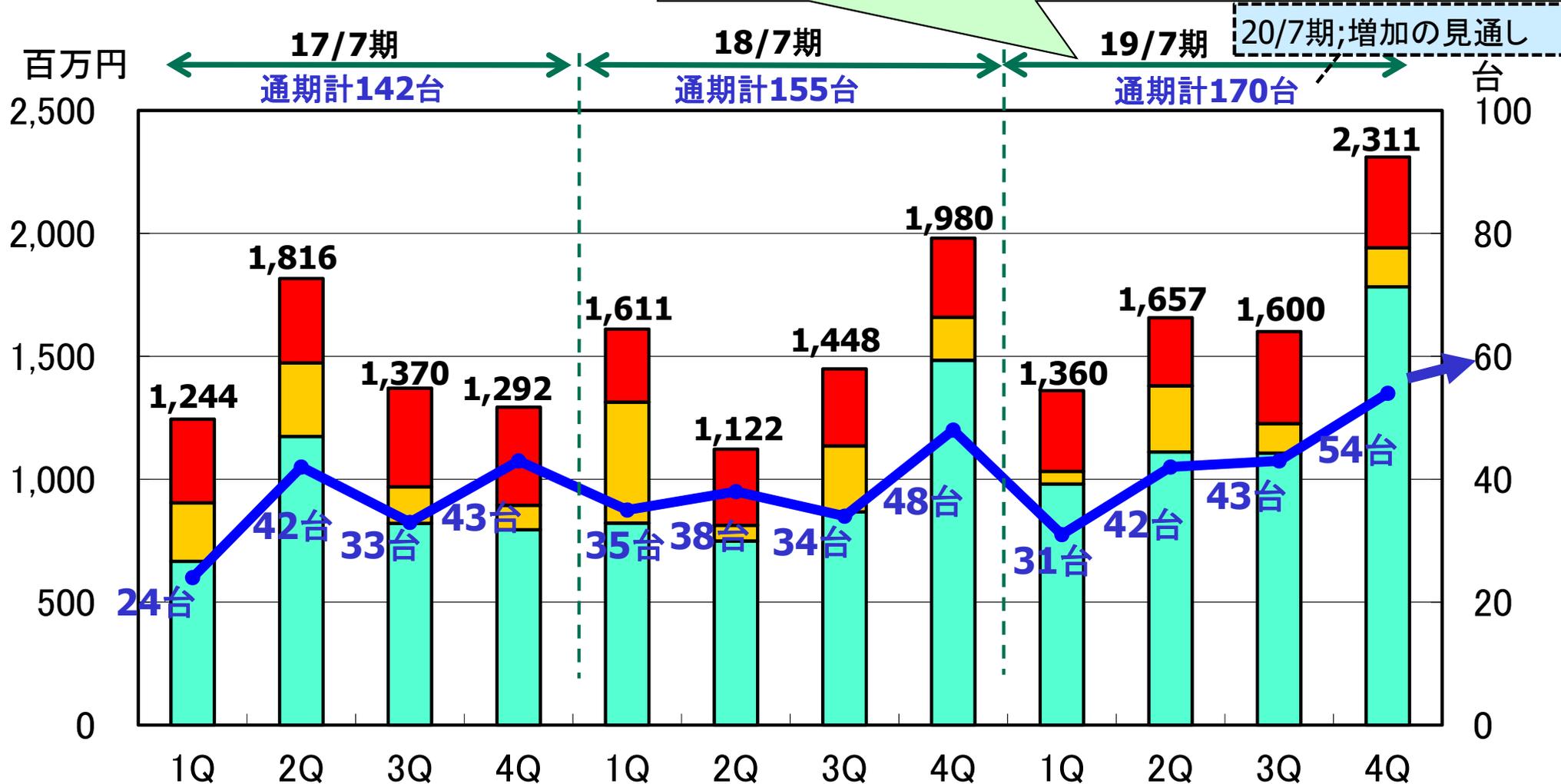
【包装機械】 四半期売上高推移

19/7実績

自社機販売台数 前期比+15台

自社機売上高 前期比+1,077百万円

※(給袋自動包装機<ガス充填自動包装機含む>、製袋自動包装機の合計)



大型案件の有無、高額機種の販売台数により、
四半期売上高は大きく変動

- 自社機合計
- 包装関連機器等
- 保守消耗部品
- 自社機販売台数(右軸)

【包装機械】エンドユーザー業種別機械売上高

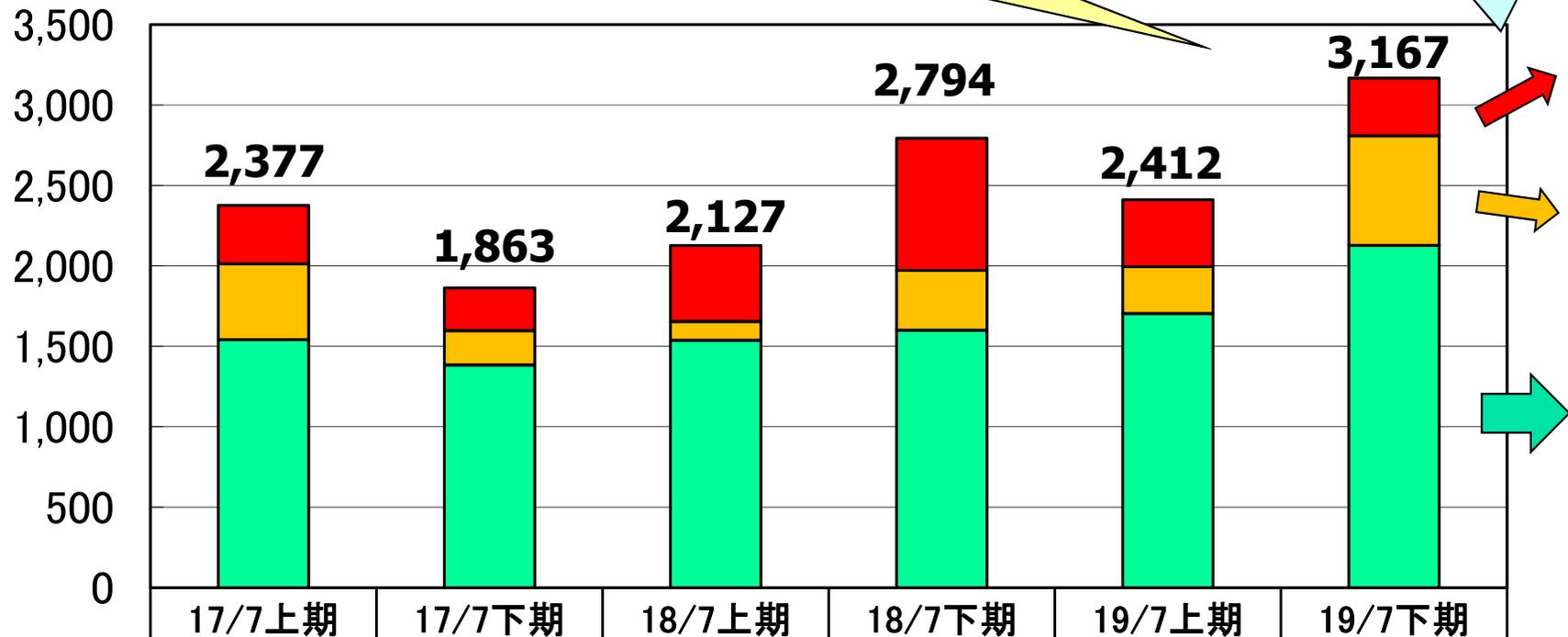
食品業界・化学関連業界の増加により、機械売上高は前期比13.4%増

<化学関連業界>
医療分野、健康食品等
<その他>
ペットフード、種苗等

19/7期実績
食品業界 前期比 22.1%増
化学関連業界 前期比 99.1%増
その他 前期比 40.0%減

20/7上期見通し(19/7下期比)
その他の増加により、
全体で増加の見通し

百万円

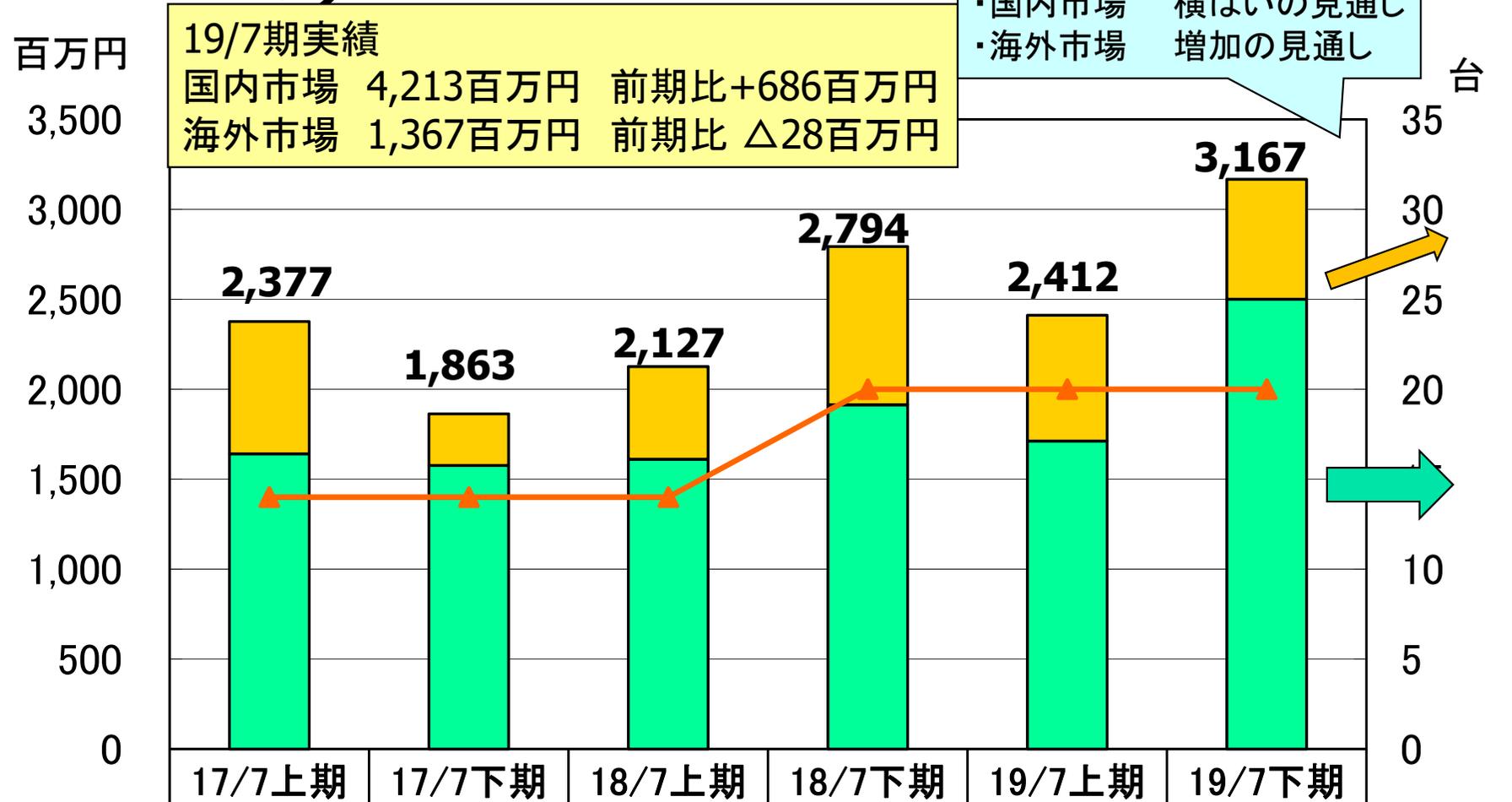


■ その他	363	266	472	822	417	359
■ 化学関連業界	472	213	116	371	290	681
■ 食品業界	1,541	1,384	1,538	1,600	1,704	2,127

【包装機械】国内/海外市場別機械売上高

(エンユーザー市場)

20/7上期(19/7下期比)
 ・国内市場 横ばいの見通し
 ・海外市場 増加の見通し



19/7期実績
 国内市場 4,213百万円 前期比+686百万円
 海外市場 1,367百万円 前期比 △28百万円

	17/7上期	17/7下期	18/7上期	18/7下期	19/7上期	19/7下期
海外市場	735	287	515	879	699	667
国内市場	1,641	1,576	1,611	1,914	1,712	2,500
海外向け台数	14	14	14	20	20	20

(自社機)

【包装機械】海外市場 エンユーザー地域別実績

※ 自社機台数

海外納入実績(17/7期～19/7期)

欧州 <ポーランド・フランス・ロシア>

17/7期	1台
18/7期	2台
19/7期	3台

アジア—ASEAN 除く
<中国・韓国・台湾・
オーストラリア含む>

17/7期	11台
18/7期	16台
19/7期	15台

北米・南米 <アメリカ・
ブラジル・アルゼンチン>

17/7期	3台
18/7期	5台
19/7期	6台

ASEAN <タイ・ベトナム・
フィリピン・インドネシア>

17/7期	13台
18/7期	11台
19/7期	16台

<20/7上期予定>

タイ、アメリカ、中国、韓国、インドネシア 等

【包装機械】機械の受注動向

<20/7上期計画>

高額案件の増加で、高水準の受注高を目指す

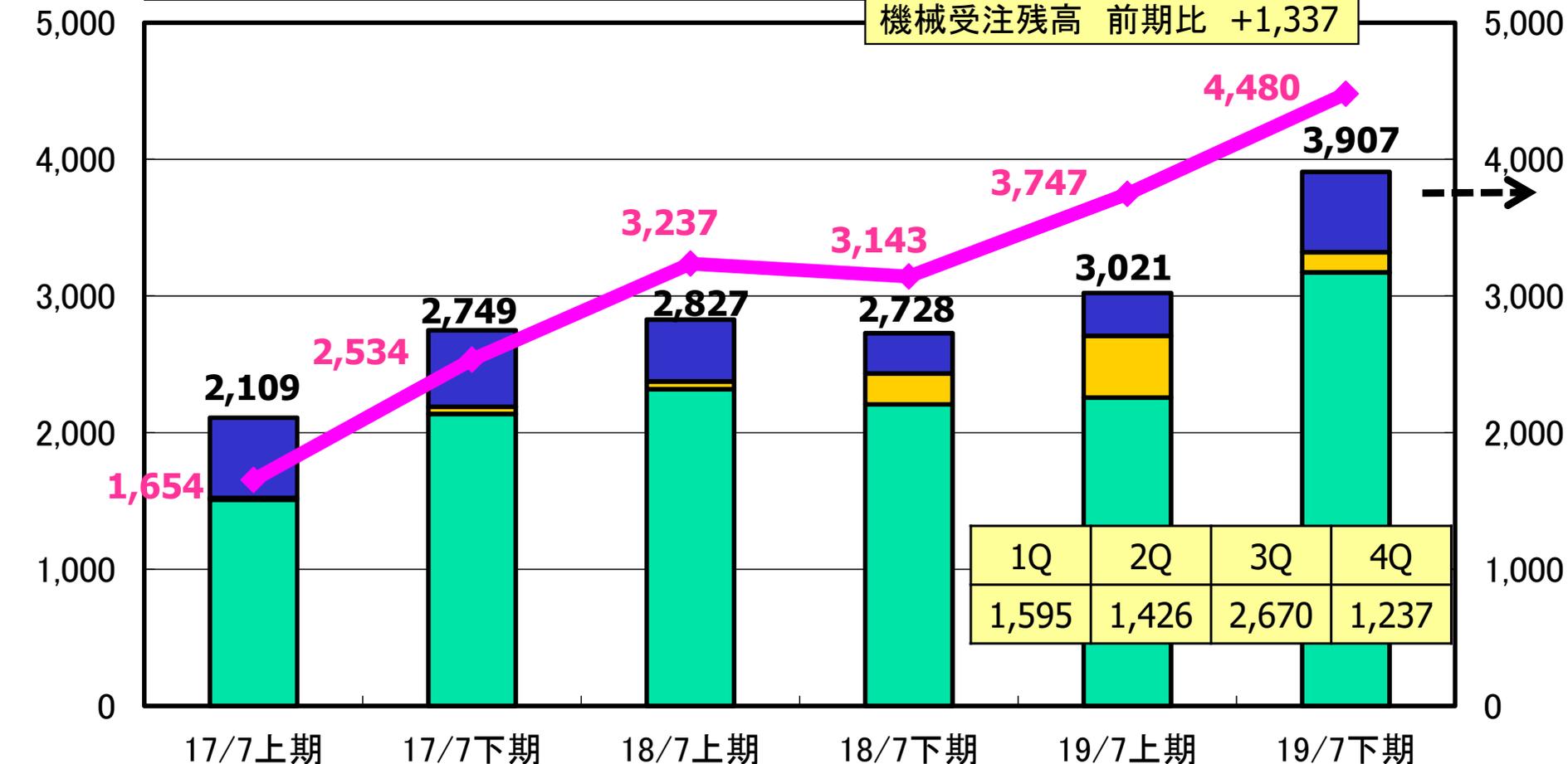
高額案件の受注が増加したことから、受注高は前期比24.7%増

19/7期実績

機械受注高 前期比 +1,372

機械受注残高 前期比 +1,337

百万円



給袋自動包装機

製袋自動包装機

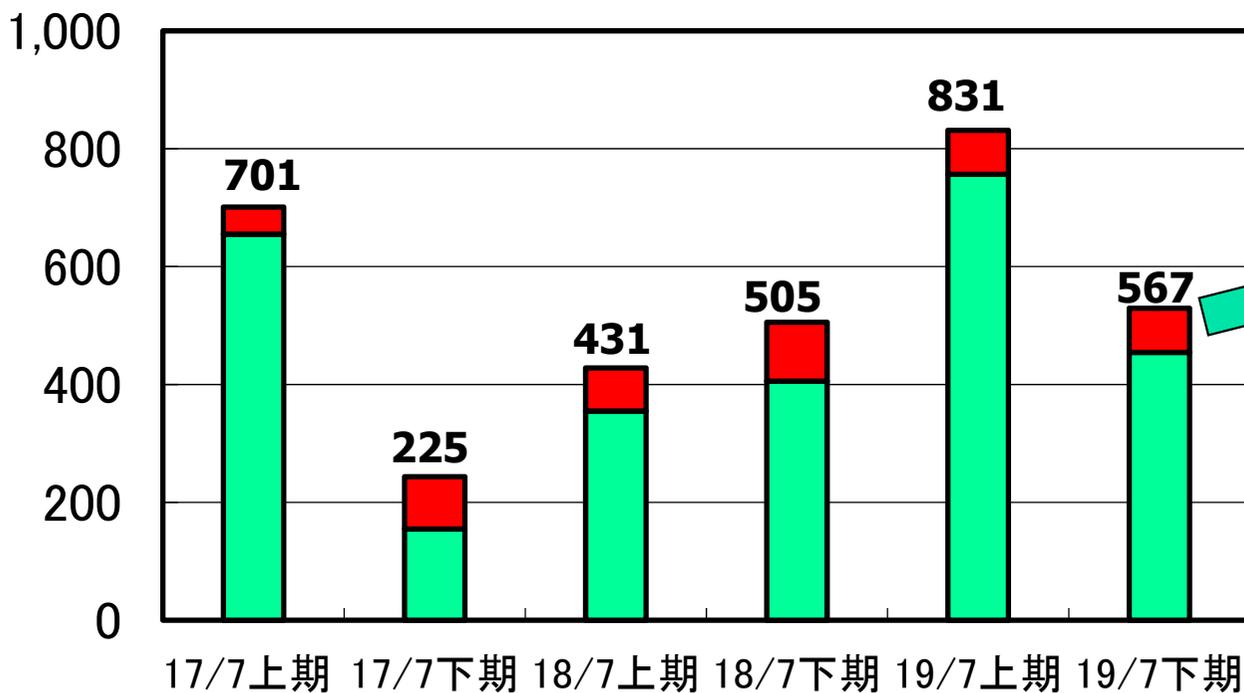
包装関連機器等

期末受注残高(右軸)

【生産機械】 売上高の動向

大型プラントの実績増加により、売上高は前期比16.8%増

百万円



19/7期実績

製菓機械 前期比 +447

・機械売上件数は、減少

保守消耗部品 前期比 +14

20/7上期(19/7下期比)
機械が増加の見通し

■ 製菓機械 ■ 保守消耗部品

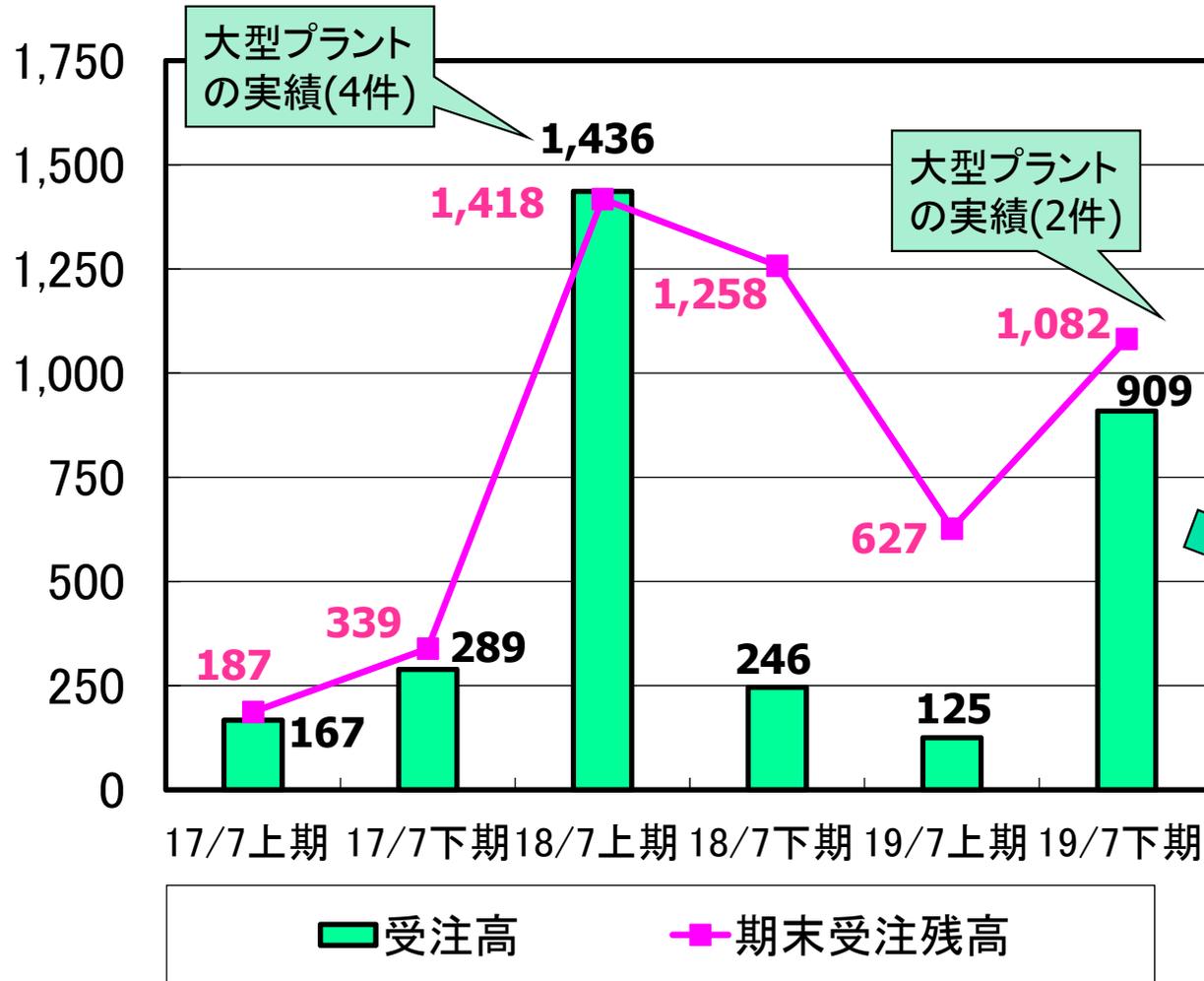
大型プラントの有無、高額案件の件数により、半期売上高は大きく変動

※17/7上期 9-1月 5ヶ月累計

【生産機械】 機械の受注動向

大型プラントの実績減少により、受注高は前期比38.5%減

百万円



19/7期実績

機械受注高	前期比	△647	
機械受注残高	前期比	△175	
四半期受注高			
第1Q	80	第3Q	654
第2Q	44	第4Q	255

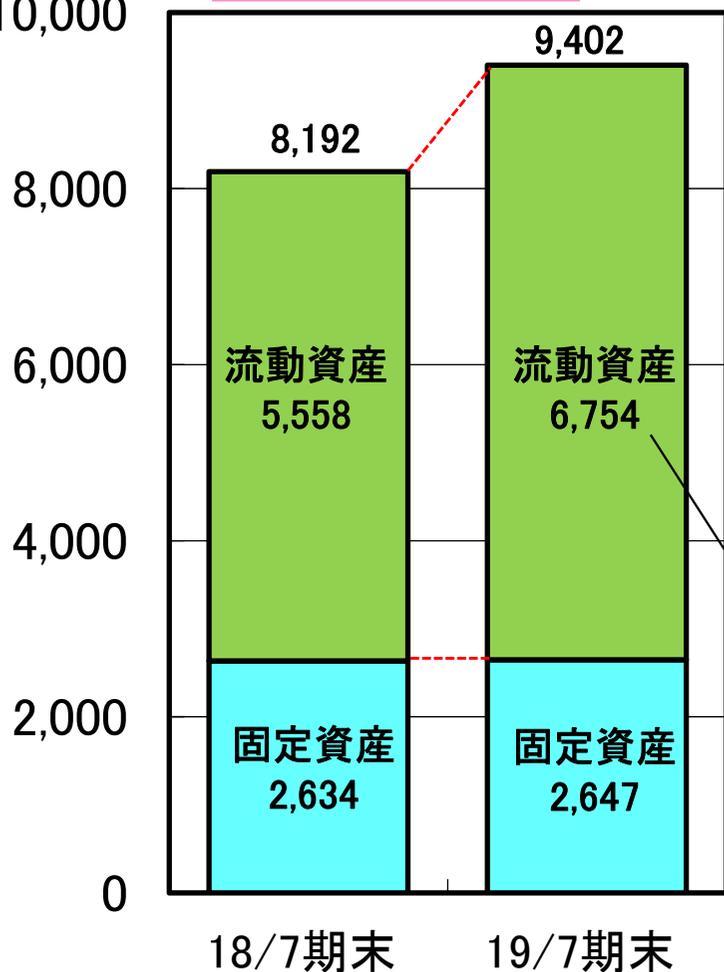
<20/7上期計画>
高額案件の件数増加を目指す

※17/7上期
9-1月 5ヶ月累計

連結B/S 概況

百万円
10,000

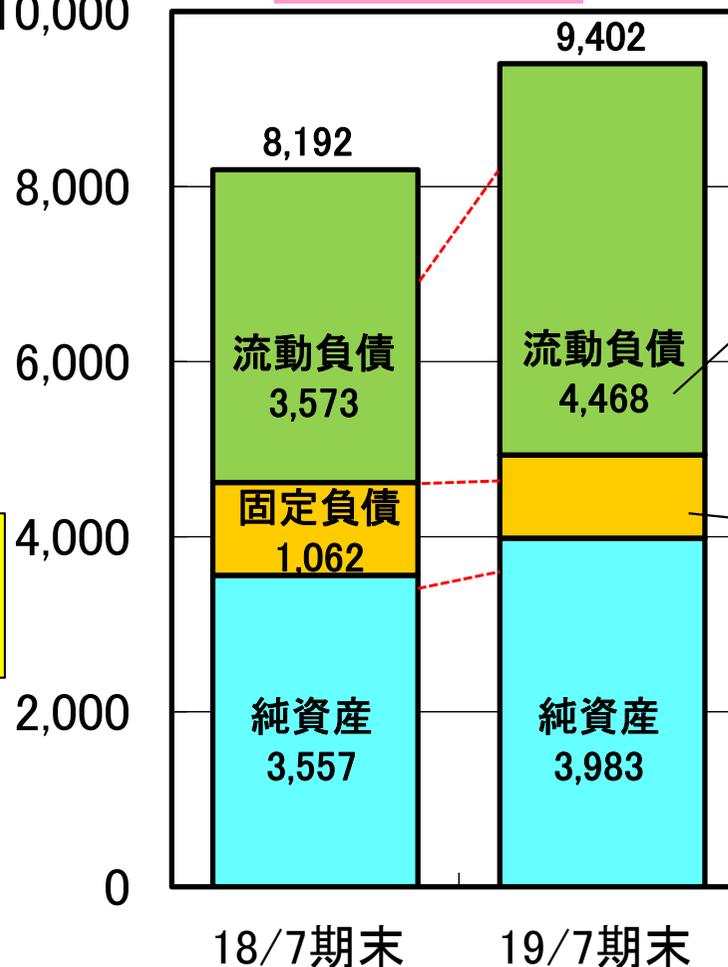
資産



現金預金・
棚卸資産の
増加

百万円
10,000

負債純資産



仕入債務・
前受金の
増加

固定負債
950

自己資本比率; 43.4% 42.4%

Ⅲ. 中期経営計画ならびに 2020年7月期業績見通し

第5次中期経営計画(2018年7月期～2020年7月期)

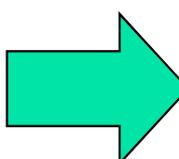
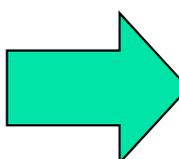
◆中期経営ビジョン

連結グループの基礎固めから成長基盤構築の時期

1. 世界に選ばれ、信頼されるGPグループ
2. オープンイノベーションで応えるソリューションカンパニー
3. 挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

◆中期数値目標

第4次中計実績

■連結経営目標	17/7期実績		20/7期目標		
売上高経常利益率	4.5%			6.0%以上	
ROA(総資産経常利益率)	4.3%			6.0%以上	
ROE(自己資本当期純利益率)	5.6%			10.0%以上	(8.0)
■連結業績目標	17/7期実績		20/7期目標		
売上高	6,651百万円			8,900百万円	(7,700)
経常利益	297百万円			600百万円	(475)
当期純利益	188百万円			420百万円	(320)

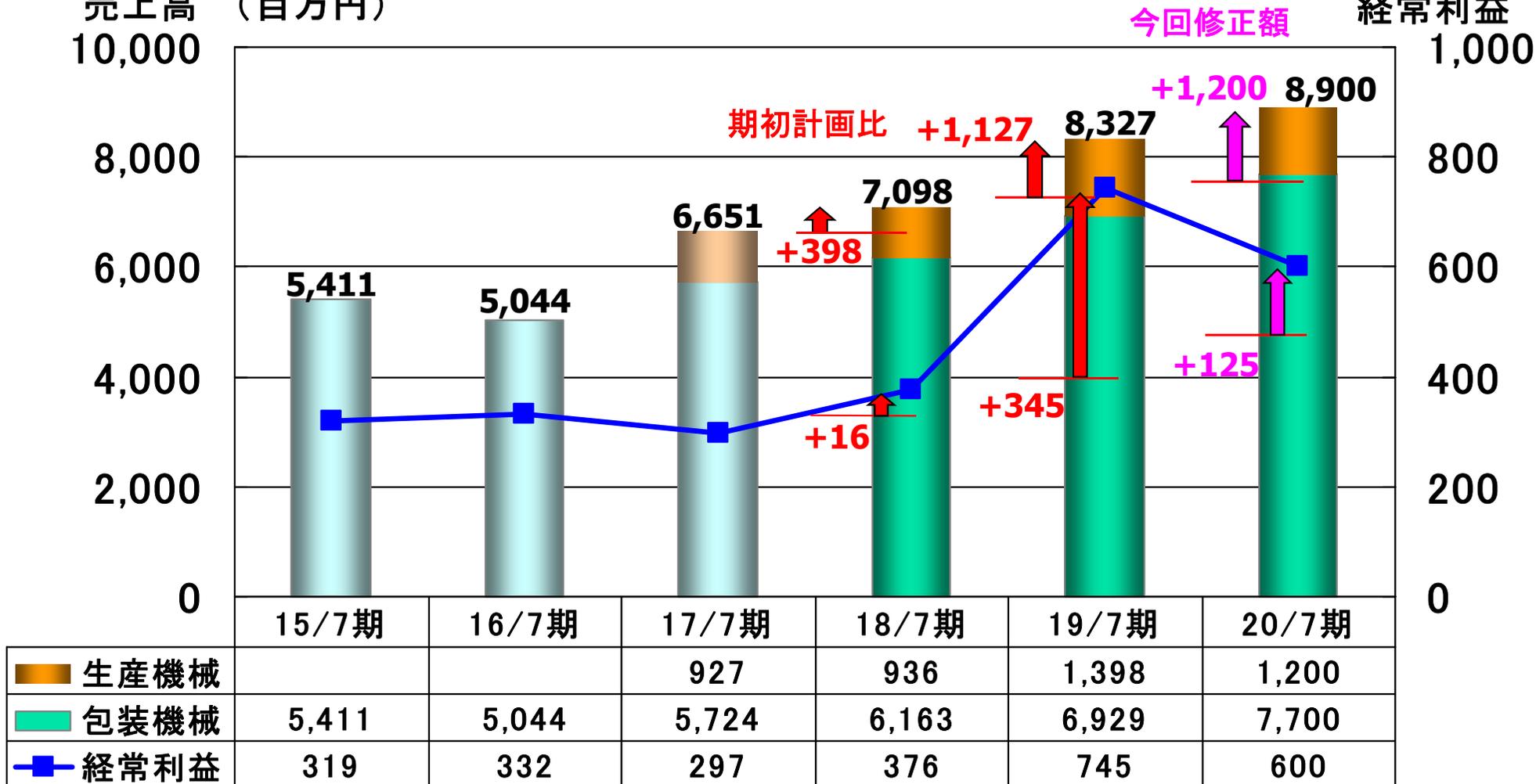
今回修正 (当初目標)

業績計画

利益率の向上と収益の拡大に注力

売上高 (百万円)

経常利益
1,000



第5次計画

※2015年7月期から2016年7月期までは単体、2017年7月期以降は連結決算となっております。

事業計画モデル(第5次中計)

売上高(単位:百万円)	17/7期実績	18/7期実績	19/7期実績	20/7期計画
【包装機械】	5,724	6,163 (+263)	6,929 (+729)	7,700 (+1,200)
内;国内市場(機械)	3,218	3,526 (+426)	4,213 (+913)	4,000 (+600)
内;海外市場(機械)	1,022	1,395 (△105)	1,367 (△236)	2,400 (+600)
【生産機械】	927	936 (+136)	1,398 (+398)	1,200
内;製菓機械	792	763 (+98)	1,211 (+351)	1,045 (△10)
合計	6,651	7,098 (+398) (期初計画比)	8,327 (+1,127) (期初計画比)	8,900 (+1,200) (今回修正額)

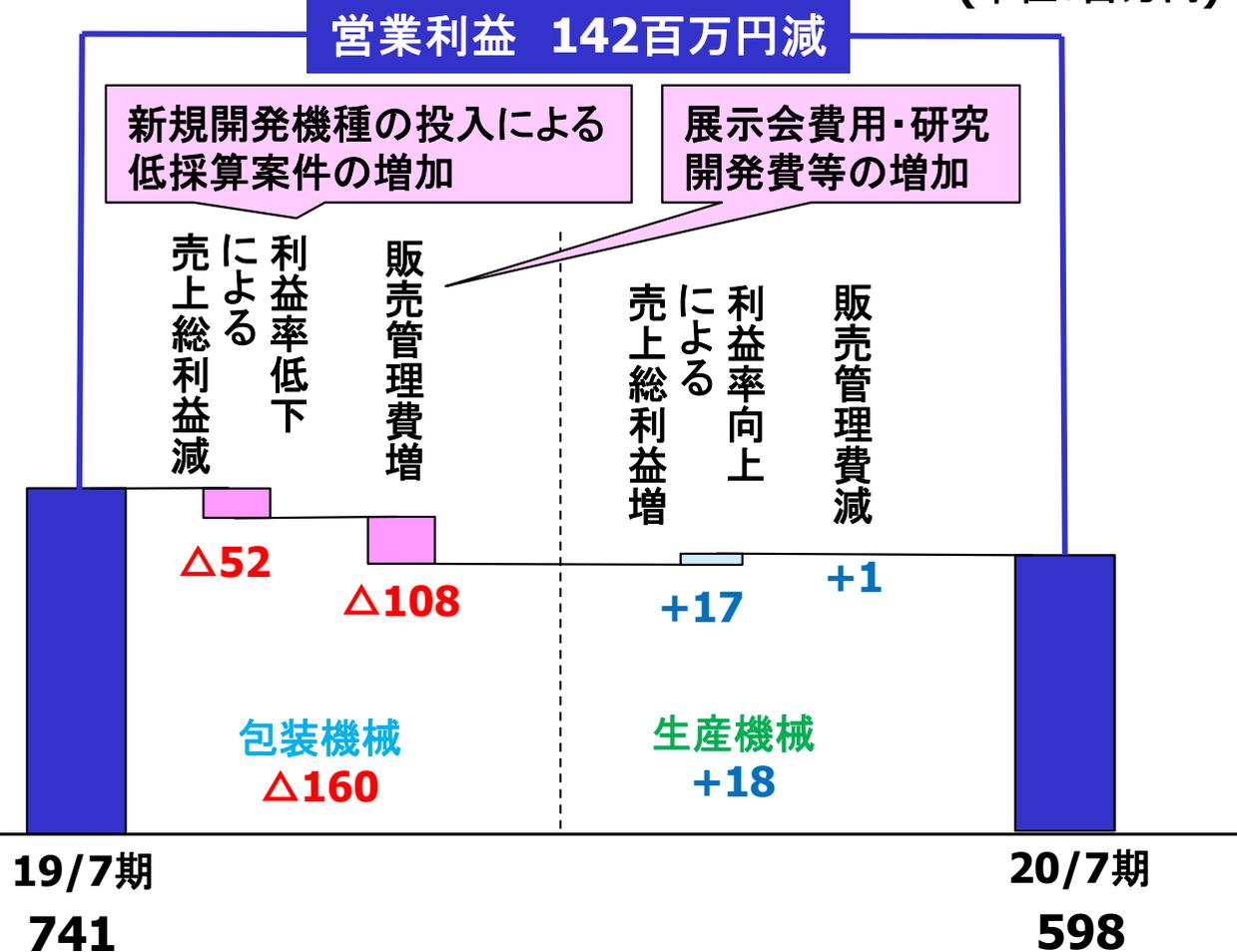
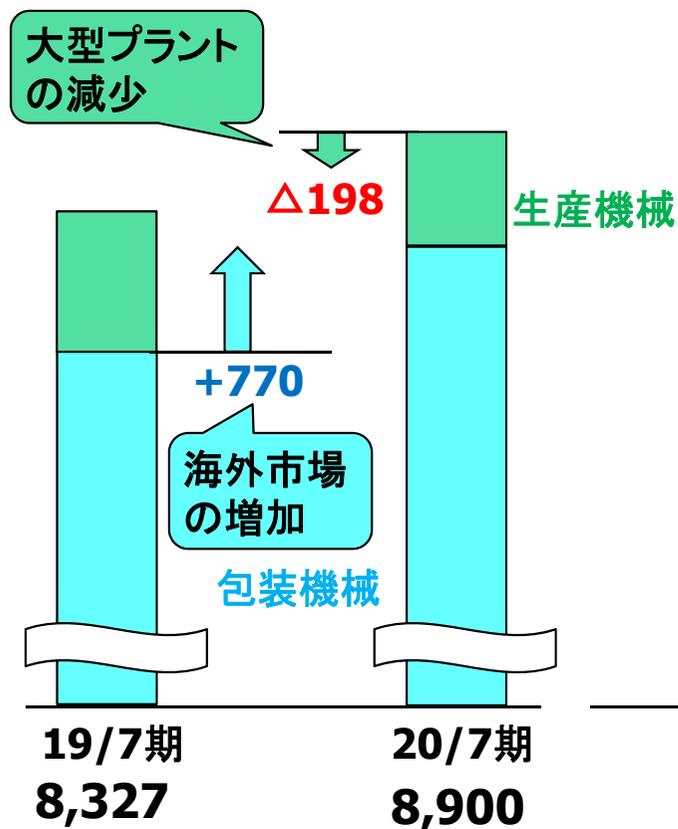
2020年7月期 連結業績見通し(概要)

売上高
572百万円の増収

増収となるものの、包装機械の
営業利益率低下により減益の見通し

上期 前年同期比+1,151
下期 前年同期比 $\Delta 578$

(単位:百万円)



2020年7月期連結業績予想

(単位:百万円、%)

	2019年7月期		2020年7月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
売上高	8,327	100.0	8,900	100.0	+572	+6.9
売上総利益	2,246	27.0	2,212	24.9	△34	△1.5
営業利益	741	8.9	598	6.7	△142	△19.2
経常利益	745	8.9	600	6.7	△145	△19.5
当期純利益	524	6.3	420	4.7	△104	△19.9

増収・減益

- 売上高は前期比6.9%増の89億円を見込む
- 売上総利益率は、前期比2.1ポイント低下し24.9%
◇包装機械の売上総利益利益率が低下
- 営業利益率は、前期比2.2ポイント低下し6.7%
- 経常利益は、前期比145百万円減の600百万円を計画
- 当期純利益は、前期比104百万円減

2020年7月期セグメント別業績予想

(単位:百万円、%)

	2019年7月期		2020年7月期		前期比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	率
売上高	8,327		8,900		+572	+6.9
包装機械	6,929		7,700		+770	+11.1
生産機械	1,398		1,200		△198	△14.2
調整額	△0	-	-	-	-	-
営業利益	741	8.9	598	6.7	△142	△19.2
包装機械	683	9.9	523	6.8	△160	△23.5
生産機械	57	4.1	75	6.3	+18	+32.5
調整額	0	-	-	-	-	-

※ 調整額;セグメント間取引の調整

【包装機械】 増収・減益、利益率は前期比3.1ポイント低下

◇新規開発機種への投入による低採算案件の増加、販売管理費の増加

【生産機械】 減収・増益、利益率は前期比2.2ポイント改善

2020年7月期セグメント別売上内訳予想 (単位:百万円、%)

	2019年7月期		2020年7月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
包装機械	6,929	83.2	7,700	86.5	+770	+11.1
給袋自動包装機	4,382	52.6	5,228	58.7	+845	+19.3
製袋自動包装機	598	7.2	397	4.5	△201	△33.7
包装関連機器等	599	7.2	775	8.7	+175	+29.4
保守消耗部品その他	1,348	16.2	1,300	14.6	△48	△3.6
生産機械	1,398	16.8	1,200	13.5	△198	△14.2
製菓機械	1,211	14.5	1,045	11.7	△166	△13.7
保守消耗部品その他	187	2.3	155	1.8	△32	△17.5
合計	8,327	100.0	8,900	100.0	+572	+6.9

前期比 : +572百万円、+6.9%

- 【包装機械】 給袋自動包装機の増加により、増収
◇新規開発機種(高価格)の販売台数増加が寄与
- 【生産機械】 大型プラントの減少により、減収

株主還元

中期配当政策

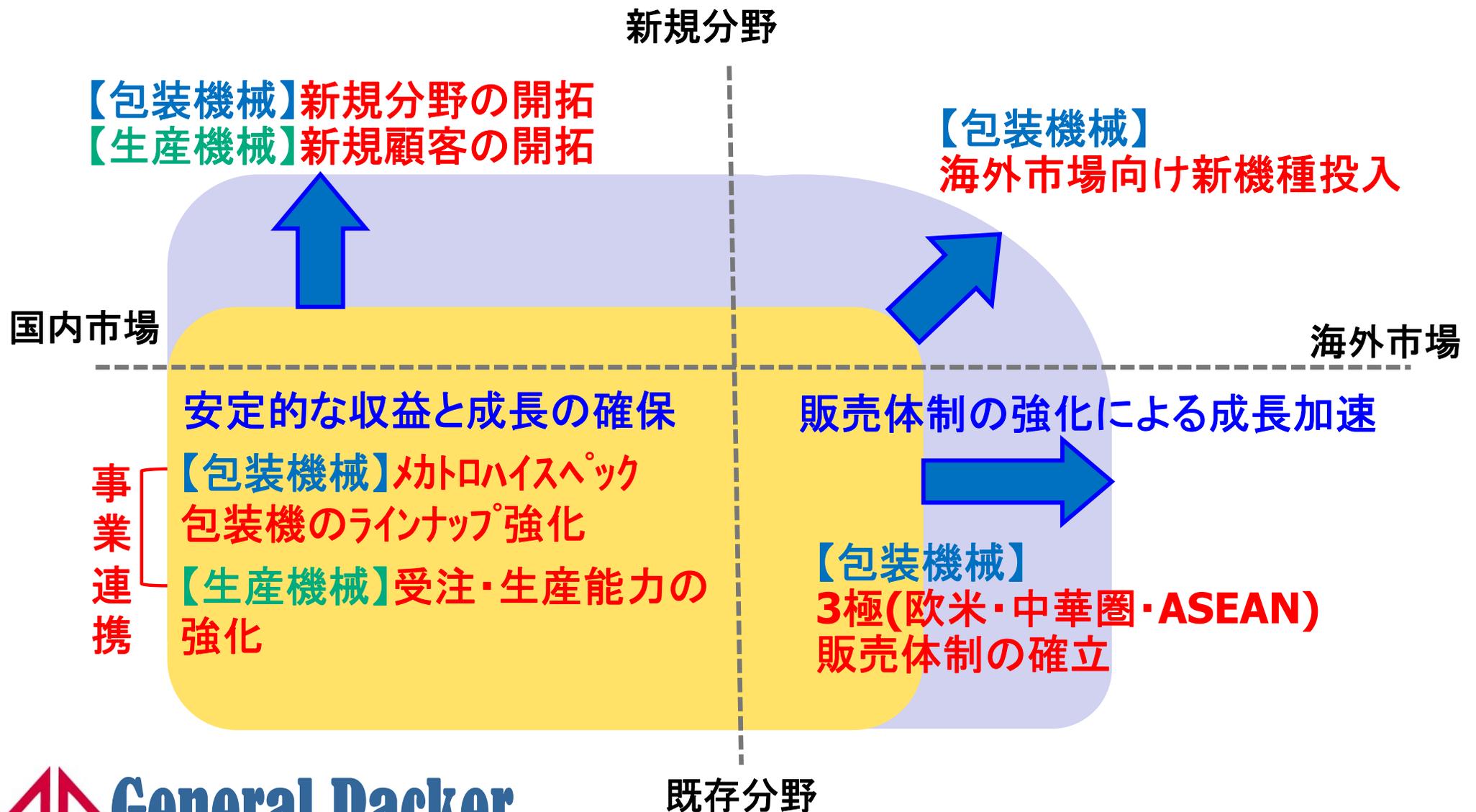
- 株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、連結配当性向**30%**または連結純資産配当率(DOE)**2%**を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指す。

	2017/7期 (連結)	2018/7期 (連結)	2019/7期 (連結)	2020/7期予想 (連結)
中間配当	20.00円	20.00円	25.00円	25.00円
期末配当	20.00円	24.00円	30.00円	25.00円
年間配当	40.00円	44.00円	55.00円	50.00円
当期純利益／株	106.27円	146.87円	296.88円	237.81円
配当性向	37.6%	30.0%	18.5%	21.0%
DOE	2.1%	2.2%	2.6%	2.1%

IV. 経営戦略の主な取組み状況

基本戦略

「さらなる成長に向けて海外事業の拡大を目指す」



基本戦略

- ①包装機械と生産機械の事業連携により、国内市場で安定的な収益と成長を確保する
- ②販売体制を強化し、海外市場向け売上高比率**20%**以上を目指す
- ③世界の包装ニーズにワンストップで応え、ソリューションビジネスのさらなる拡大を図る
- ④メカトロハイスペック包装機シリーズの商品開発を強化する
- ⑤生産機械から包装機械まで一貫したシステムとサービスの提供で、顧客満足度を得る
- ⑥開発力強化と事業領域拡大のためのアライアンスを推進する

【包装機械】販売戦略

国内市場; 安定的な収益と成長の確保

■メカトロハイスペック包装機の拡販

- ・高機能給袋自動包装機 **GP-M3000型**
受注は好調に推移
- ・シリーズ機種の販売 **GP-M3550型** (高速充填包装)
19/7期 受注実績 **3台**(前期比 **2台増**)



20/7期

- オプション機能の追加
- 新機種の投入

■自社包装機受注

19/7期 受注高 **44.1億円**(前期比 **11.9億円増**)
受注台数 **153台**(前期比 **28台増**)

ソリューションビジネスの拡大

■新規納入先の開拓

19/7期 受注実績**5社**

■高額システム(30百万円以上)の受注実績

内2件; システムの一部は、
ロボット応用システムを納入

	17/7期	18/7期	19/7期
受注件数	11件	6件	5件
業種	食品(9件)、化学(1件)、 医療(1件)	食品(5件) 医療(1件)	食品(3件)、種苗(1件)、 ペットフード(1件)

【包装機械】販売戦略

海外事業の拡大

- 中国子会社; 蘇州日技通用包装机械有限公司(中国・常熟市) (16/3月設立)
19/7期 売上高 1.8億円(前期比0.4億円減) ⇒ 20/7期は増加の見込み
・上海駐在員事務所 ⇒ 子会社の支店へ変更(19/3月)

▶ 20/7期 中国市場の営業活動強化

■ 販売体制の強化

- ・既存代理店(6社)の販売支援
アメリカ代理店 受注台数増加
- ・新規代理店の開拓
19/7期 中国(1社)、タイ(1社)

▶ 20/7期
アメリカ市場・中国市場の開拓強化

■ 自社包装機受注 (単体)

19/7期 受注高 15.4億円(前期比 0.5億円増)
受注台数 39台(前期比 3台減)

■ 新規顧客開拓の受注実績 (エンドユーザー)

17/7期	18/7期	19/7期
11社 タイ、ベトナム、中国、 オーストラリア、アメリカ、韓国	13社 タイ、台湾、中国、ベトナム、 インドネシア、アメリカ	11社 タイ、中国、ベトナム、 アルゼンチン、アメリカ

【包装機械】開発・技術戦略

■開発テーマ <第5次中計>

- ①メカトロハイスpekク包装機と海外市場向け新機種の開発
- ②コア技術の強化
- ③特定ユーザー・業種のニーズに対応した新機種の開発 等

■新機種開発

メカトロハイスpekク包装機のシリーズ開発

製袋式機種の開発	20/7期完成予定
2連高速機の開発	20/7期完成予定

業種ニーズに対応した新機種の開発

小袋用新機種の開発	19/7期完成 ⇒ 新バージョンの開発	20/7期完成予定
2連高速新機種の開発	20/7期完成予定	

【生産機械】

受注体制と新規顧客開拓の強化

■ 受注活動

- ・大型プラントの受注
19/7期 2件(前期4件)

■ 包装機械との事業連携

- ・親会社からの営業、技術支援
営業1名・技術2名の派遣
- ・親会社営業と情報共有、同行訪問
- ・食品機械展示会へ共同出展



FOOMA(19/7月)

20/7期
受注活動強化
展示会共同出展

■ 新規開拓

19/7期 受注実績 9件(機械、機器)
(前期6件)

内部管理体制の強化

- 人材確保・育成 等

V. 參考資料

包装機械業界

単位:億円

機種別	生産高
個装・内装機械	3,728
包装用計量機	273
充てん機	406
びん詰機械	590
製袋充てん機	752
真空包装機	111
その他	1,596
外装・荷造機械	730
ケース詰機	210
その他	520
合計	4,458

主な上場企業
 専業メーカー:東京自動機械製作所
 兼業メーカー:CKD、渋谷工業 等

需要先別構成比
 ・食品部門 **55.5%**
 ・化学部門 **14.8%**
 ・その他 **17.9%**
 ・輸出 **11.8%**

袋詰用包装機

当社の主力包装機の区分

前年度比
3.8%増
8年連続増

(一社)日本包装機械工業会
 「包装機械及び荷造機械生産高統計」
 2017年度実績

当社:包装機械の専業メーカー
 ■ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の包装機械・システムに特化
 ◇高品質・高難易度の包装分野
 ◇チャック付袋包装、ガス充填包装等

主な競合先(ロータリー式包装機メーカー)
 ・東洋自動機(非上場):レトルト物の包装が主力
 ※ナブテスコ連結子会社
 ・古川製作所(非上場):ウェット物・真空の包装が主力

食品機械業界

単位:億円

機種別	販売額
精米麦機械	144
製粉機器	130
製めん機械	107
製パン・製菓機械	1,418
醸造用機械	166
乳製品加工機	653
飲料加工機械	240
肉類加工機械	260
水産加工機械	173
その他食品機械	2,468
合計	5,761

主な上場企業
 兼業メーカー:レオン自動機、
 鈴茂器工 等

・輸出 **6.9%**

製菓機械

オサ機械(子会社)
 の区分

前年比
10.5%増
6年連続増

(一社)日本食品機械工業会
 「食品機械統計」
 2017年実績

オサ機械:チョコレート製造機械の専門メーカー
 ■創業以来**80年以上**、蓄積された豊富な経験
 ◇チョコレート製造全般
 ◇国内で高いシェアを占める

主な競合先
 ・谷沢菓機工業(非上場)
 チョコレート製造機械、餅・和菓子製造機械、
 米菓機械

会社概要(2019年7月31日現在)

- 設立 1966年(創業 1961年)
- 資本金 251百万円
- 発行済株式数 1,798,800株
- 売買単位 100株
- 決算期 7月末
- 事業内容 各種自動包装機及び周辺装置の製造・販売
製菓機械の製造・販売
- 従業員数 単体;155名(その他臨時雇用者32名)
連結;187名(その他臨時雇用者46名)
- 事業所 本社・工場、東京営業部、上海事務所
- 子会社 オサ機械、蘇州日技通用包装機械
- 役員 取締役 5名
社外取締役(監査等委員) 4名
- 企業ビジョン

証券コード;6267
東証JASDAQ・名証二部

「社会・株主・顧客・取引先・従業員の全てに対し、誠実で透明性の高い経営を実践し、信頼され、支援される企業」の実現

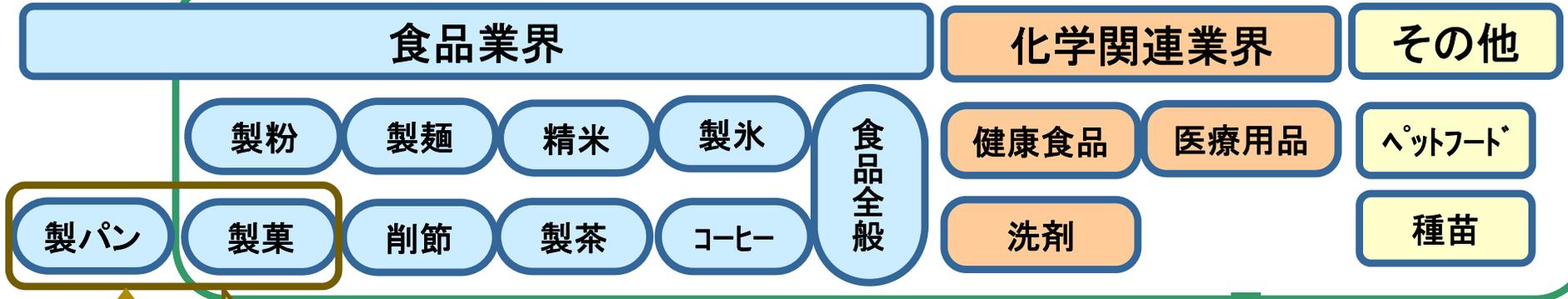
事業内容

国内市場

海外市場

主要市場:ドライ物(粉末・顆粒・固形物等)の
包装用機械・システム

主要ユーザー



食品業界の各大手上位への顧客基盤が強い

チョコレート製造機械分野
国内で高いシェアを持つ

高品質・高難易度の包装分野
・チャック付袋包装
・ガス充填包装等

販売経路

直販

窓口

業界上位が中心

特定顧客・業種、中堅・中小等

機器から
プラントまで

販売

直販が中心
生産機械

個別受注生産

包装機械

販売

袋詰用包装機から包装システムまで

チョコレート製造機械

製菓機械等

開発・設計・製造

給袋自動包装機(ガス充填自動包装機含む)

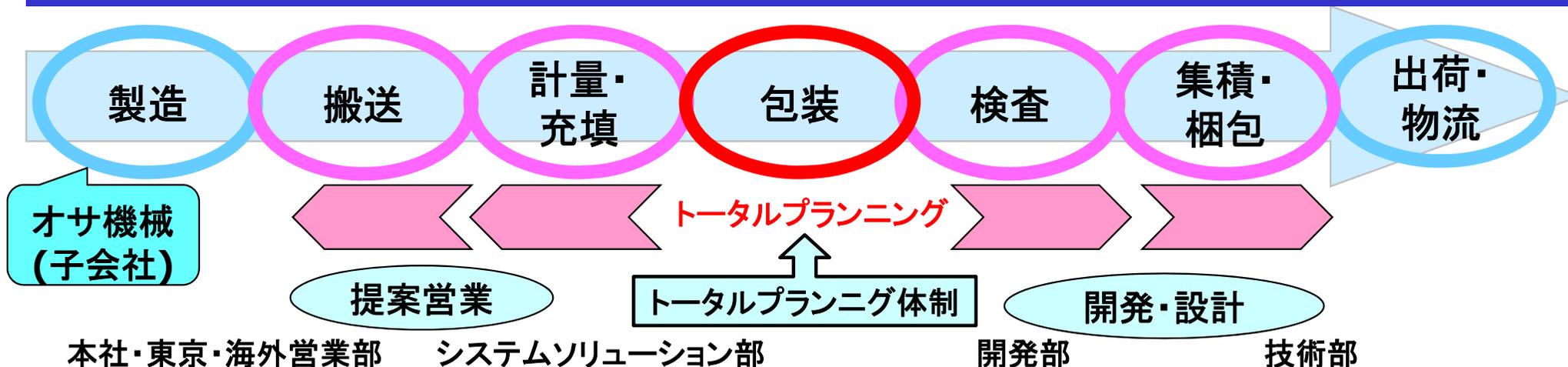
製袋自動包装機

包装関連機器等

仕入

(経営ビジョン)

オープンイノベーションで応えるソリューションカンパニー



挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

人員推移(単体)

	14/7期末	15/7期末	16/7期末	17/7期末	18/7期末	19/7期末
従業員	127	131	135	139	147	155
(内 開発・技術部人員)	(40)	(42)	(42)	(43)	(44)	(45)
臨時雇用者※	16	19	18	23	26	32
合計	143	150	153	162	173	187
※パート、嘱託、派遣	連結人員合計(臨時雇用者含む)			193	212	233

包装システムの市場創造型トータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

当資料取り扱い上の注意点

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

【IR窓口】 経営企画室

〒481-8601

愛知県北名古屋市宇福寺神明65

電話：0568-23-3111

FAX：0568-22-3222

E-mail：info@general-packer.co.jp

